

「沖縄における新規開業の現状」調査について

沖縄振興開発金融公庫企画調査部は、標題についての調査結果を取りまとめました。

本調査は、当公庫の新規開業者への融資実績と、取引先に実施した「開業関連アンケート調査」結果を集計し、沖縄県内の新規開業の動向や実態についてとりまとめたものです。

なお、今後同報告書を発刊し、関係機関等への配布を予定しております。

I. 新規開業者の平均像 (図表 1)

1. 開業年齢・性別・組織形態・従業員数

アンケートにみる新規開業者の平均像は、年齢 40 歳で全国よりも 2 歳若く、女性の割合は 24%で全国(16%)より高い。組織形態では、個人企業が 73%と大半を占め、全国(61%)と比較して約 10%ポイント以上高くなっている。開業時における従業員数は、本人を含め 3.0 人で全国の 3.8 人を下回る。

2. 業種

沖縄はサービス業 27%、飲食店・宿泊業 18%、卸・小売業 15%、医療・福祉業 14%等の順となっている。全国は、サービス業 22%、医療・福祉業 22%、卸・小売業 19%、飲食店・宿泊業 15%等の順となっており、全国と比較すると、サービス業や飲食店・宿泊業の構成比が比較的高い。

3. 開業資金(調達総額)

開業のために調達した資金の平均額について、沖縄は 1,410 万、全国は 1,409 万でほぼ同額となっている。調達先別でみると、沖縄は自己資金が 22%(全国 25%)、金融機関からの借入 70%(全国 60%)となっており、全国に比べ自己資金が少なく、金融機関からの借入割合が高い。

4. 開業後の採算

開業後の収支は、黒字基調が 55%(全国 66%)で赤字基調が 45%(全国 34%)となっている。沖縄で開業後に利益が出ている事業者は過半数を占めているものの、全国に比べると約 10%ポイント下回っている。

II. 新規開業者の実態 ～属性別～

1. 開業前のキャリア (図表 2～8)

(1) 斯業経験

沖 縄: 未経験者は約 4 割(全国 13%)で、全国に比べると未経験者の割合は約 3 倍

男女別: 全国に比べ男女ともに低く、女性は約 4 割が未経験者

年齢別: 全国に比べ全ての年齢層で低い。沖縄の若年層は 74%と経験割合は高いが経験年数はシニア層の 3 割弱

(2) 開業直前の職業

沖 縄: 正規職員(役員含む)が約 8 割で、全国比では役員・管理職経験者の割合が低く、正規職員の割合が高い

男女別: 女性は役員・管理職経験者が 3 割弱で、男性の半分程度。非正規職員、専業主婦・主夫の割合も高い

年齢別: 沖縄の若年層は、非正規職員からの開業が盛ん

2. 開業資金(調達総額) (図表 8～10)

沖 縄: 沖縄は 1,410 万、全国は 1,409 万でほぼ同額。金融機関からの借入割合が 70%(全国 60%)と高い。

男女別: 女性 1,315 万(中央値 565 万)、男性 1,343 万(中央値 700 万)で、と平均額はほぼ変わらないが、平均より少ない資金で開業している事業者が多い。調達では、女性は「配偶者・親・兄弟・親戚」と「友人・知人」をあわせた調達割合が高い

年齢別: 若年層 733 万(中央値 600 万)、盛年層 1,253 万(中央値 660 万)、シニア層 1,963 万(中央値 600 万)と平均額は年齢別に大きく差がある。調達をみると、若年層は「自己資金」が低く、「配偶者・親・兄弟・親戚」「友人・知人」の調達割合が高い

3. 開業後の経営状況 (図表 11～18)

(1)現在の採算

沖 縄:黒字基調が 55%(全国 66%)で過半数を占めるものの、全国を約 10%ポイント下回っている

男女別:黒字基調は女性 55%(全国 57%)、男性 60%(全国 68%)で、男女ともに全国に比べやや下回っている

年齢別:黒字基調はいずれの年齢層でも約 6 割、全国に比べ若者は約 15%ポイント下回っている

(2)開業計画の検討と採算

属性での差はなく、開業計画の検討が十分であるほど採算が良く、検討不十分の事業者は不芳

4. 事業展開上の苦労点 (図表 19～24)

(1)開業時の苦労点

沖 縄:「資金調達」「自己資金の蓄積」といった開業資金に関する項目が上位を占める

男女別:女性のトップは「経理や労務など経営者全般に必要な知識・ノウハウの習得」

年齢別:若年層・盛年層に比べるとシニア層は開業資金に関する苦労をあげる割合は低い

(2)現在の苦労点

沖 縄:「顧客・取引先の開拓」「資金繰り」「人材の確保」に苦労が上位を占める

男女別:女性は男性に比べ「経営知識の不足」「事業を進める中で相談相手がいない」が高い

年齢別:若年層は「資金繰り」、シニア層は「顧客・取引先の開拓」に苦労

Ⅲ. 新規開業成功のポイント

1. 1つ目は「自己資金の蓄積」

アンケートにみる平均開業資金は、全体で 1,410 万円(中央値 800 万円)となり、その 7 割を金融機関からの借入に依存している。事業が軌道に乗るまでに相当の期間を要する中、いざ開業してみると予想外の出費を要することや予定とは異なる場面も多々ある。円滑な事業運営を行うためにも、できるだけ多くの自己資金を蓄積し、借入負担を抑え、資金繰りに余裕を持たせることが重要である。

2. 2つ目は「事業経験を積み足場固めを行うこと」

沖縄は黒字基調の割合が全国に比べて低い一方で、事業経験のない新規開業者は全国比3倍と高い。採算と事業経験との関係を見ると、事業経験ありが事業経験なしに比べ黒字基調となる割合は高く、採算状況は良い傾向を示している。時間は要するが、事業経験を通して業界知識やマネジメント能力を蓄え、人脈をつくるといった足場固めを行うことが事業成功への近道となる。

3. 3つ目は「開業計画の十分な検討」と「適時適切な軌道修正」

アンケート結果では、開業計画を十分に検討した事業者ほど採算状況が良く、開業計画の良し悪しが事業成否の鍵を握る結果となっている。一方で、開業後、計画外の事象に直面した場合には、適時適切な軌道修正を行っていくことが肝要である。企業単体で不足する知見は当公庫を含め創業支援機関等をうまく活用しながら事業を継続、発展させていくことで、地域活性化の一翼となることを期待したい。



沖縄振興開発金融公庫 企画調査部 (部長: 渡慶次 憲義)

[調査内容についての問い合わせ先]

企画調査部 調査課 安次富(あしとみ)

沖縄県那覇市おもろまち 1-2-26

電話: 098-941-1725 FAX: 098-941-1920

「開業関連アンケート調査」 <調査要領>

(1) 調査の目的 : 新規開業者の実態把握

(2) 調査実施時期 : 平成 24 年 7 月 15 日～平成 26 年 8 月 30 日

(3) 調査対象 :

①調査対象事業者 : 平成 24 年度、平成 25 年度、平成 26 年度に行った「開業関連アンケート調査」

の事業者(沖縄公庫融資先で下記 (a) ～ (d) に該当する事業者)

(a) 生業資金、生活衛生資金

(b) 平成 22～24 年度融資先

(c) 融資時点で開業後 5 年以内の事業者 (開業前を含む)

(d) 不動産業のうち、不動産賃貸業は除く

②調査対象先数及び回答状況

調査対象先数 : 2,138 先中 506 先(開業後 5 年以内の事業者 (開業前を含む))

[うち、開業後 1 年以内の事業者 (開業前を含む) の回収数は、278 先]

回 答 状 況 : 506 先/2,138 先=23.7%

(4)調査方法 : 対象先に調査票を郵送し、記入を求める方法による (無記名)

(5)使用する語句の定義

①新規開業者

[沖縄] と全国と比較 : 沖縄・全国ともに開業後 1 年以内の事業者 (開業前を含む)

<男女別> <年齢別> 比較 : 沖縄は開業後 5 年以内の事業者 (開業前を含む)、

全国は開業後 1 年以内の事業者 (開業前を含む)

②若年層・盛年層・シニア層

沖縄－ 若年層 : 29 歳以下

盛年層 : 30～55 歳未満

シニア層 : 55 歳以上

全国－ 若年層 : 29 歳以下

盛年層 : 30～60 歳未満

シニア層 : 60 歳以上

(5)調査データ集計方法 :

沖縄－平成 24 年度、平成 25 年度、平成 26 年度「開業関連アンケート調査」の 3 年度分の調査結果を合算した

全国－日本政策金融公庫総合研究所「新規開業白書 2012 年版」「新規開業白書 2013 年版」「新規開業白書 2014 年版」の 3 年分調査結果を基に沖縄公庫で集計加工し作成した

I. 新規開業者の平均像(図表1)

	新規開業者の平均像		備 考
	沖 縄	(参考) 全国	
1 開業年齢	平均 40.1歳	平均 42.1歳	年齢層別の構成比は「30歳代」が47.6%と最も高い。
2 性 別	男性 76.2% 女性 23.8%	男性 84.0% 女性 16.0%	沖縄の女性の新規開業者は23.8%と全国と比べ高い。
3 組織形態	個人企業 73.4% 法人企業 26.6%	個人企業 61.0% 法人企業 39.0%	個人での開業が大半。軌道に乗った後に法人成りするケースもある。
4 業 種	サービス業 26.9% 飲食店・宿泊業 17.6% 卸・小売業 14.8% 医療・福祉 13.6%	サービス業 22.2% 医療・福祉 21.9% 卸・小売業 18.7% 飲食店・宿泊業 14.9%	上位3業種で全体の6割を占めている。特にサービス業や飲食店・宿泊業の構成比が高い。
5 従業者数	平均 3.0人	平均 3.8人 (*1)	本人のみ、または2人で開業するケースで過半数を占めている。
6 開業資金 (調達総額)	平均 1,410万円	平均 1,409万円 (*1)	500万円未満とする層が約3社に1社あり、少額で開業している事業者も少なくない。
7 自己資金 (調達総額比)	平均 307万円 (21.8%)	平均 351万円 (*1) (24.9%)	自己資金は2割にとどまり、公庫を含めた金融機関からの借入比率は開業資金の7割強を占め借入割合が高い
8 開業後の収支	黒字基調 55% 赤字基調 45%	黒字基調 66% 赤字基調 34%	開業して利益がでている事業者は約6割。

(*1)単年度データを3年分合計し単純平均したもの

<属性別>

	沖縄県 男女		沖縄県 年齢別		
	女性	男性	若年層	盛年層	シニア層
⑥ 開業資金 (調達総額)	平均 1,315万円	平均 1,343万円	平均 733万円	平均 1,253万円	平均 1,963万円
⑦ 自己資金 (調達総額比)	平均 312万円 (23.7%)	平均 357万円 (26.6%)	平均 143万円 (19.5%)	平均 334万円 (26.7%)	平均 512万円 (26.1%)
⑧ 開業後の収支	黒字基調 55% 赤字基調 45%	黒字基調 60% 赤字基調 40%	黒字基調 59% 赤字基調 41%	黒字基調 59% 赤字基調 41%	黒字基調 60% 赤字基調 40%

(資料)

注1 沖縄の①～④は、沖縄公庫 平成25年度融資実績

注2 全国の①～④は、日本政策金融公庫 平成25年4月～9月融資先のアンケート調査

注3 沖縄の⑤～⑧は、沖縄公庫 平成22～24年度融資先のアンケート調査で開業後1年以内の事業者を集計

注4 全国の⑤～⑧は、日本政策金融公庫 平成22年・23年・24年4月～9月融資先のアンケート調査(2012年版・2013年版・2014年版新規開業実態調査)を基に沖縄公庫で作成

注5 沖縄の⑥～⑧は、沖縄公庫 平成22～24年度融資先のアンケート調査で開業後5年以内の事業者を集計

II. 新規開業者の実態 ～属性別～

1. 開業前のキャリア (図表 2～8)

(1) 斯業経験

[沖 縄 (図表 2)]



平均経験年数

12.1年

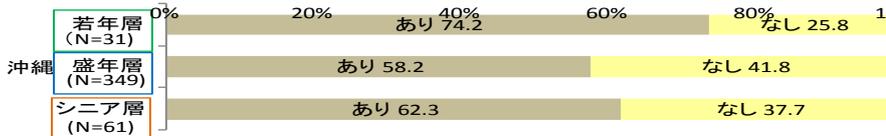


14.4年

<男女別(図表 3)>



<年齢別(図表 4)>

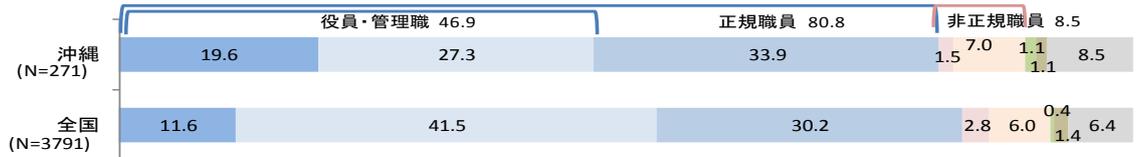
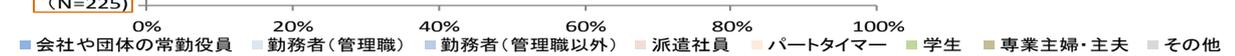


(注1) 平均経験年数は、「経験あり」(年数不明先を除く)と回答した人のみ集計

(注2) 全国の平均経験年数は、2011年度調査(2012年版)、2012年度調査(2013年版)、2013年度調査(2014年版)の3年分を合計し単純平均化した

(2) 開業直前の職業

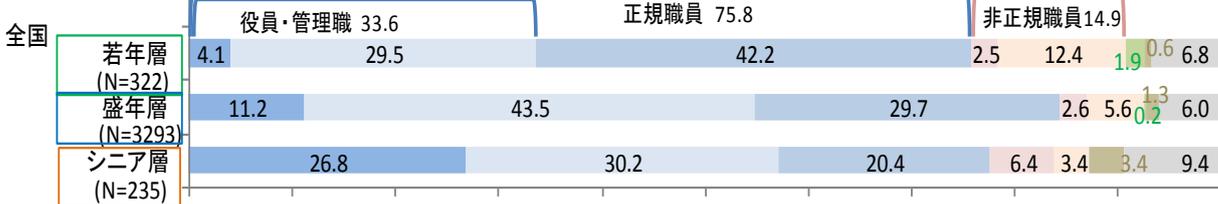
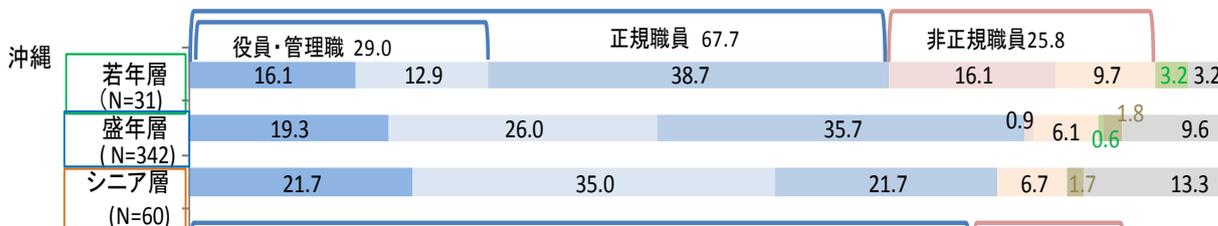
[沖 縄(図表 5)]



<男女別(図表 6)>

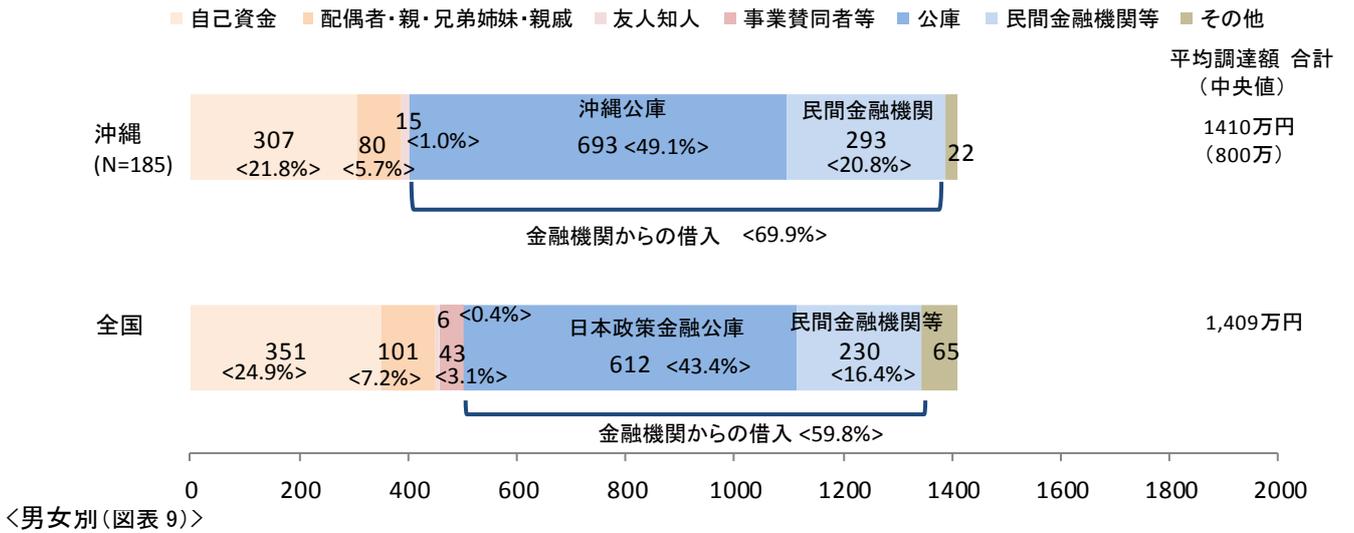


<年齢別(図表 7)>

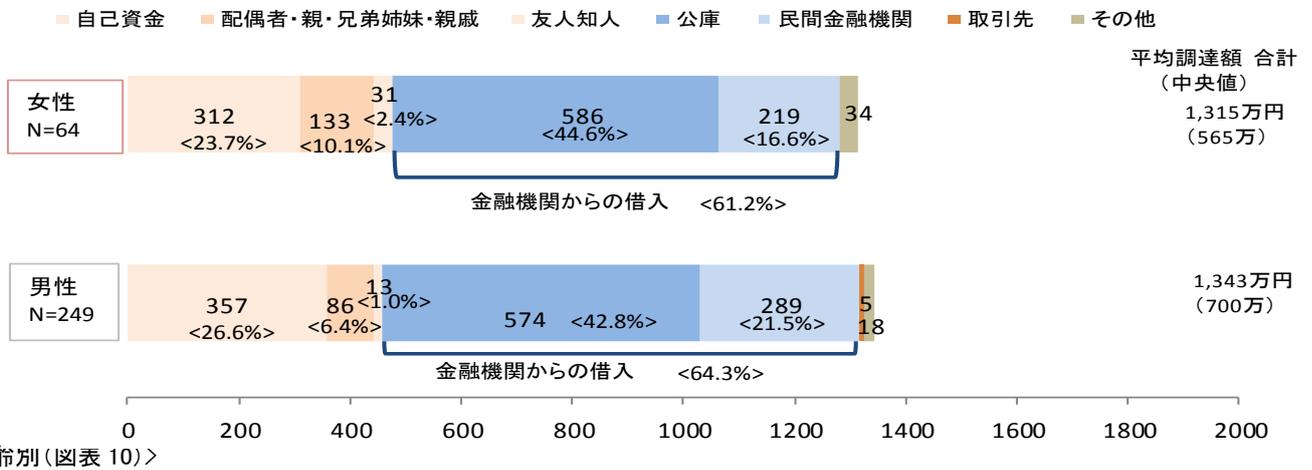


2. 開業にかかる資金調達 (図表 8~10)

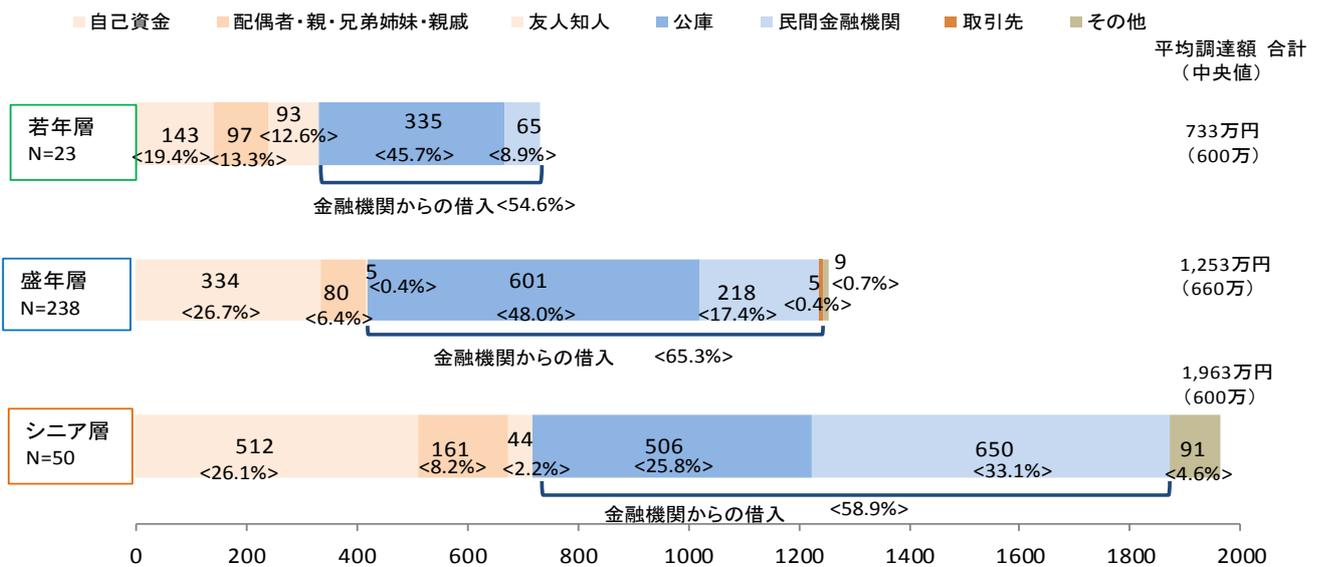
[沖 縄(図表 8)]



<男女別(図表 9)>



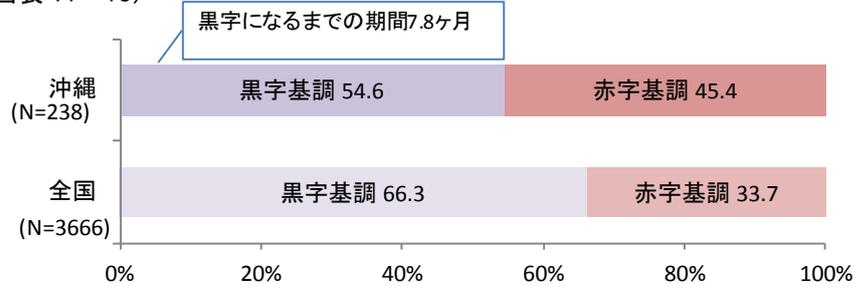
<年齢別(図表 10)>



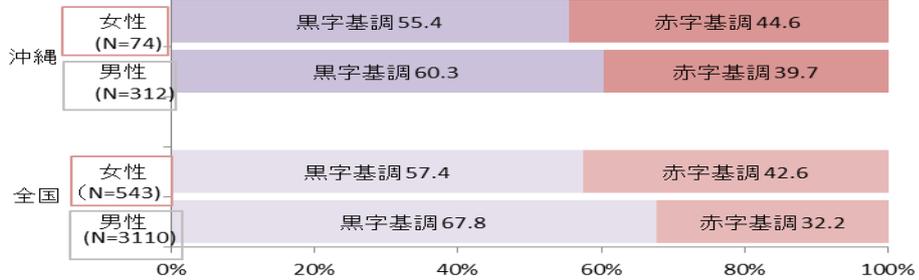
3. 開業後の経営状況 (図表 11~18)

(1)-1 現在の採算

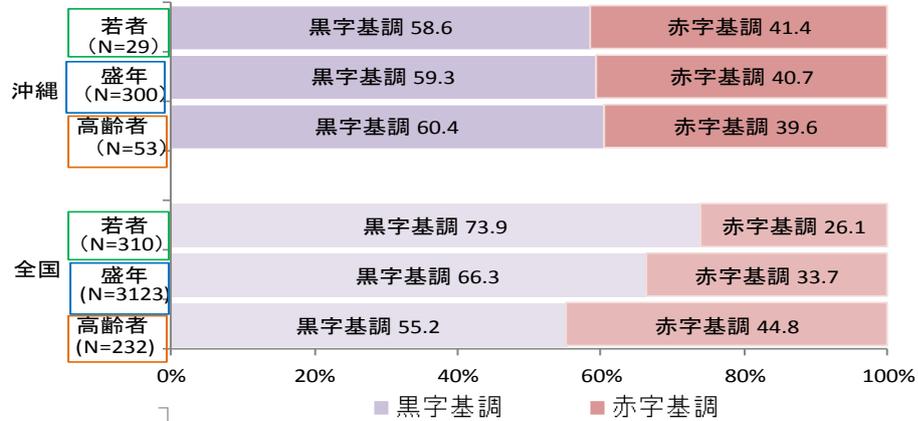
[沖 縄(図表 11)]



<男女別(図表 12)>

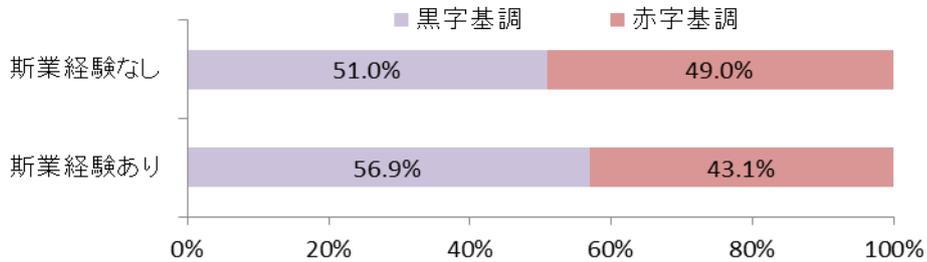


<年齢別(図表 13)>

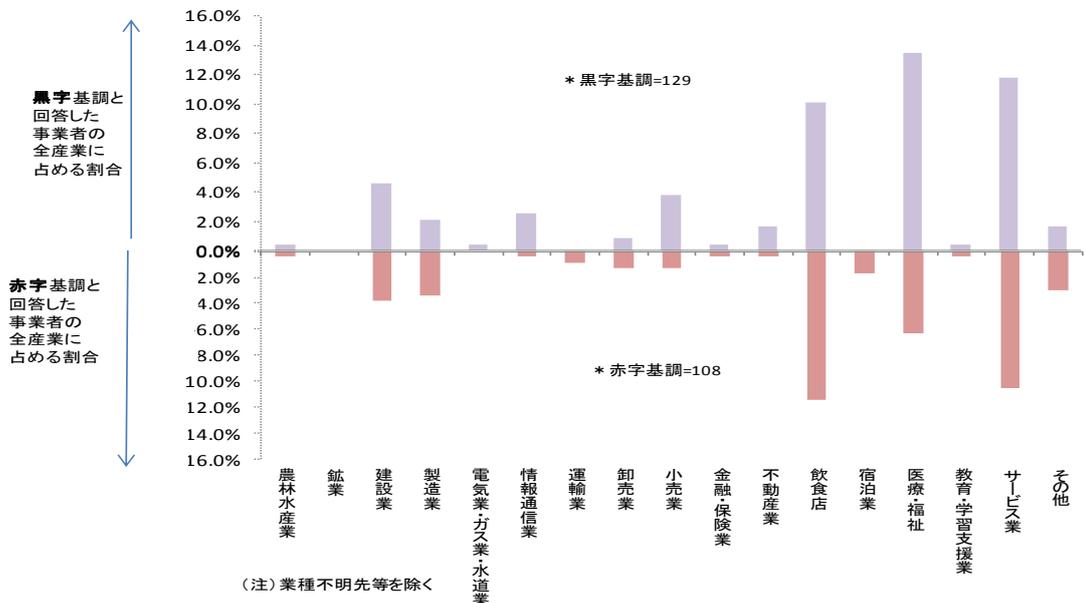


(1)-2 斯業経験と採算

[沖 縄(図表 14)]:

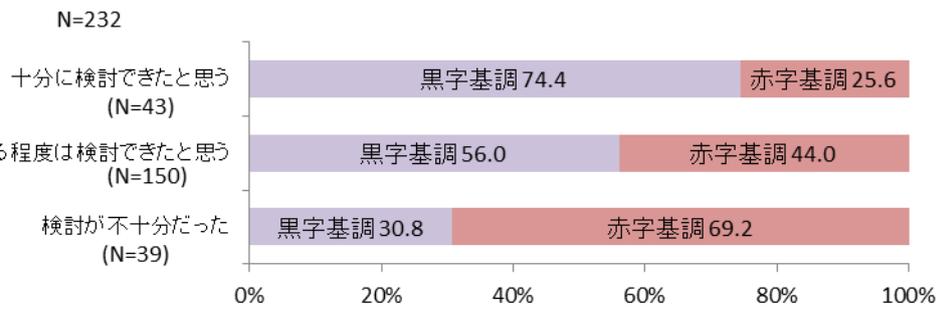


(1)-3 業種と採算 [沖縄(図表 15)]

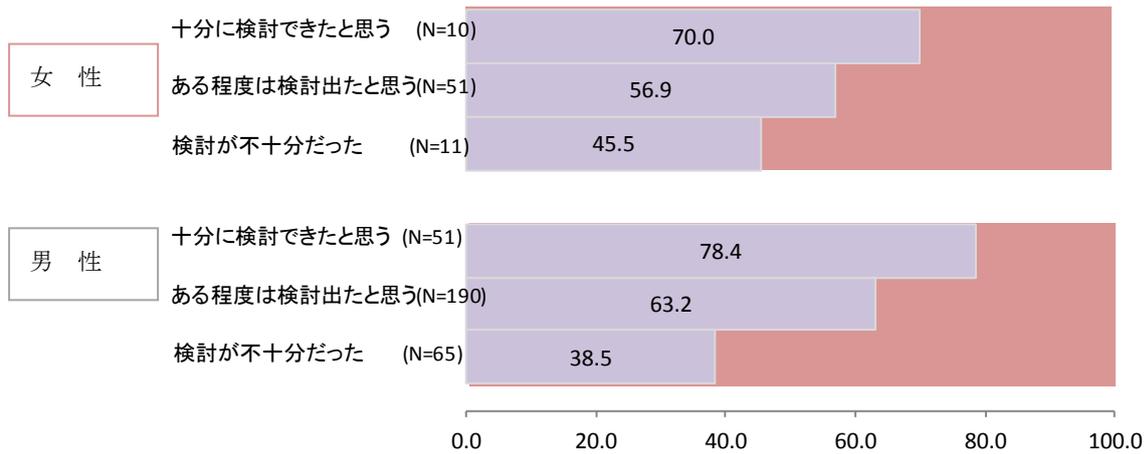


(2)開業計画の検討と採算

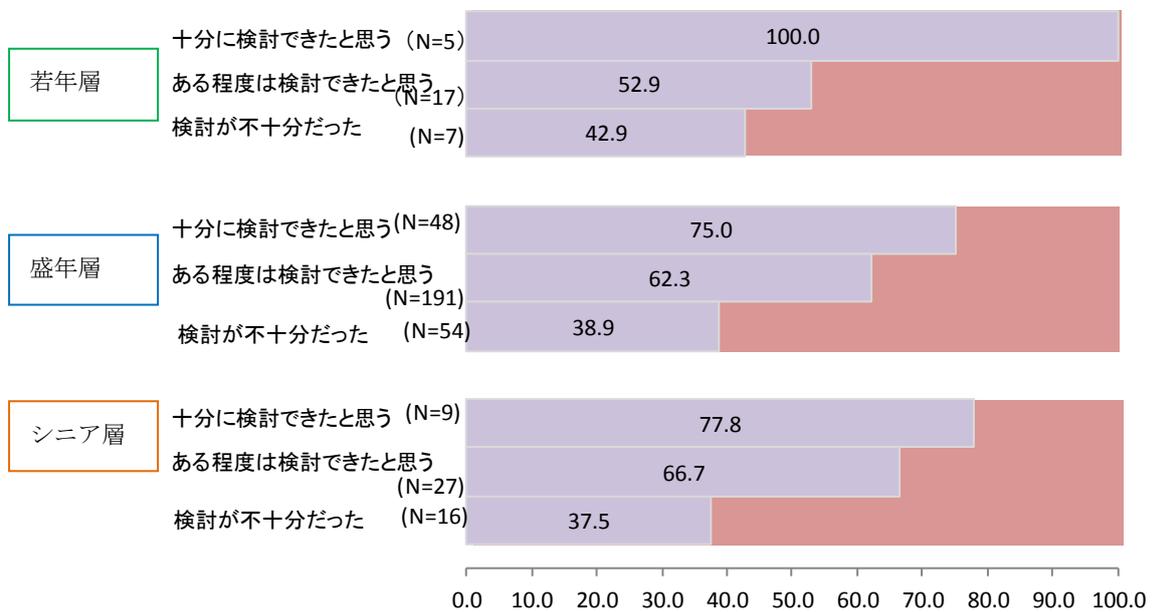
[沖 縄(図表 16)]



<男女別(図表 17)>



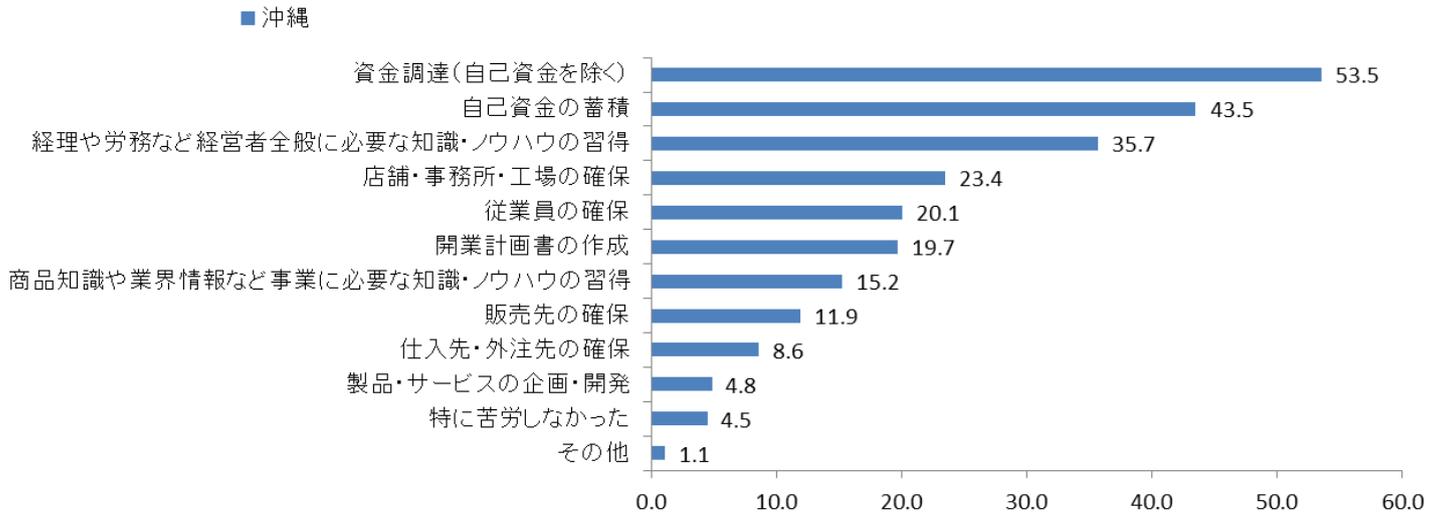
<年齢別(図表 18)>



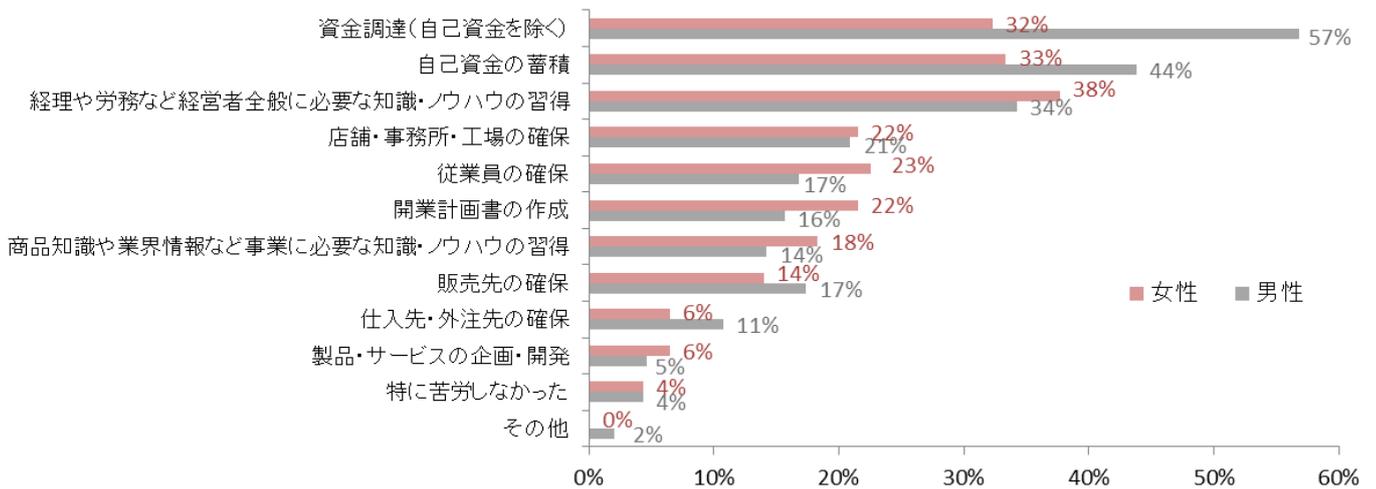
4. 事業展開上の苦労点 (図表 19~24)

(1)開業時の苦労点

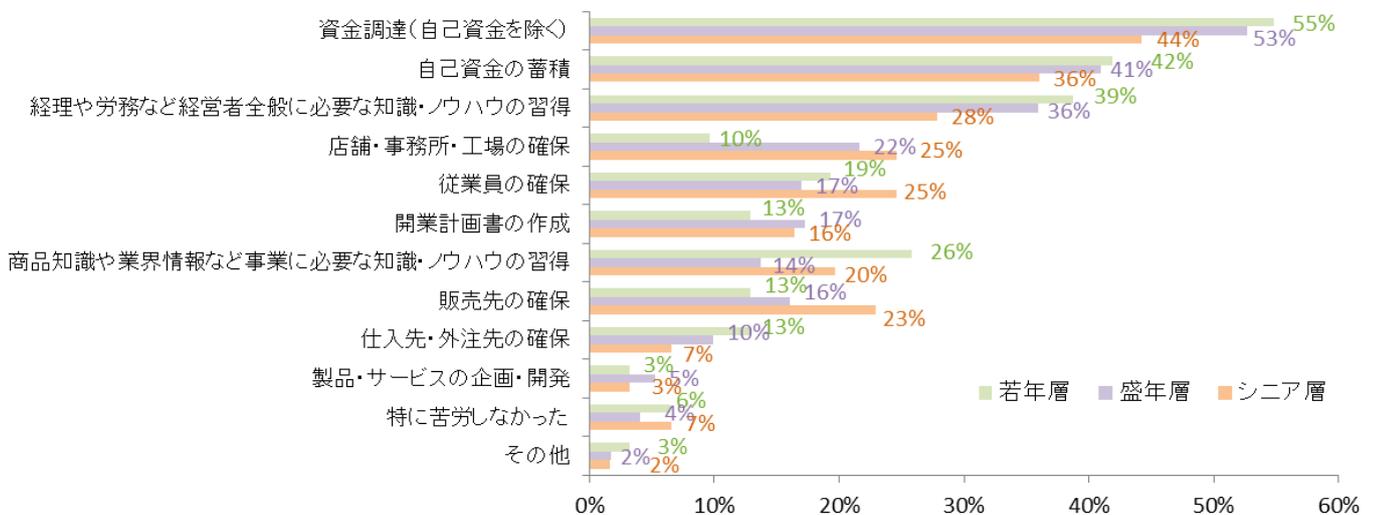
[沖 縄(図表 19)]



<男女別(図表 20)>

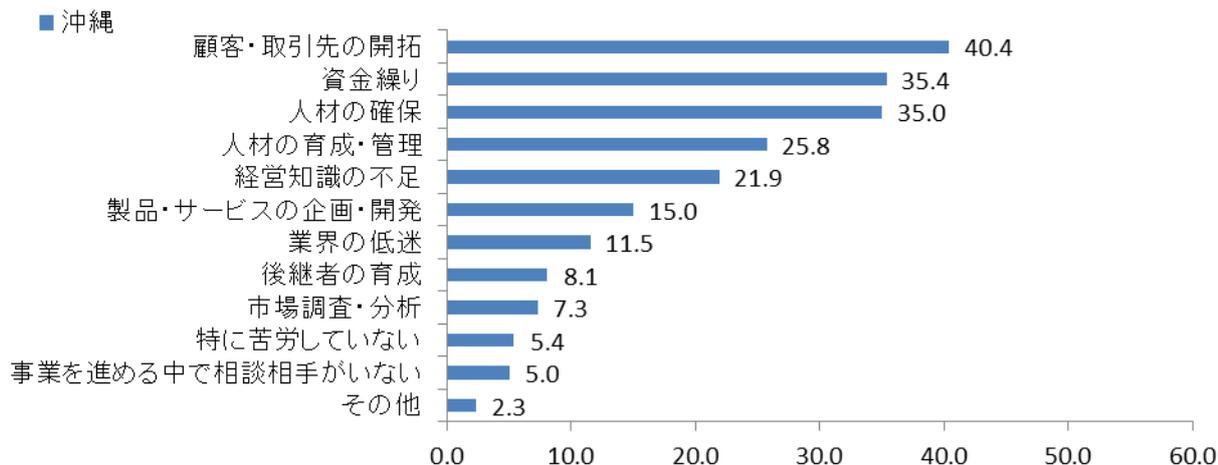


<年齢別(図表 21)>



(2)現在の苦労点

[沖 縄(図表 22)]



<男女別(図表 23)>

